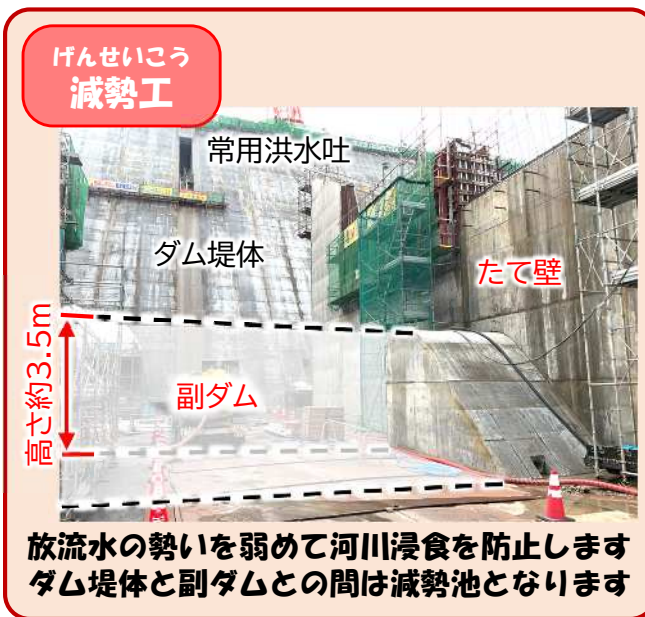
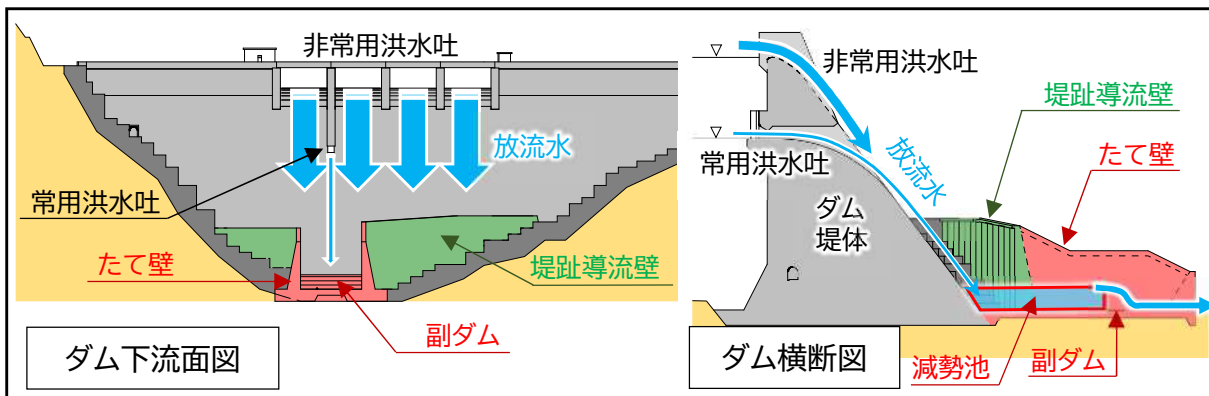


ていしどうりゅうへき げんせいこう 堤趾導流壁と減勢工を紹介します

洪水時、貯水池の水は、ダム堤体の常用洪水吐や非常用洪水吐から放流します。30～50mの落差を流れる放流水は、非常に大きな勢いがあります。そのため、放流水の勢いを弱め、適切な方向に流れを導き、安全に下流河川へ流す施設として、堤趾導流壁と減勢工(減勢池や副ダム、たて壁等から構成)を施工しています。ダム堤体と比べると小さく見えますが、近くから撮影した写真から大きさが分かるでしょうか？



福井県吉野瀬川ダム建設事務所
 か
あ
ら
版

令和7年3月15日
 第17号

発行者
 吉野瀬川ダム建設事務所
 〒915-0872
 越前市広瀬町113-5
 ☎(0778)21-0020
 【お問い合わせは上記へ】



地域の小学生に出前授業を行いました

地域の小学生にダムの役割や魅力を理解していただく取組みとして、職員による出前授業を3学期も実施しました。出前授業では、スライドによるダムの役割や工事内容の説明と、ダムの洪水調整の仕組みを実感する模型実験を行いました。



📷 工事の状況について（ダム本体工事）

2月末現在でコンクリートを約122,000m³打設しました。（全体の約89%）
また、監視所などダム管理用設備工事も順次進めています。

令和7年2月



ダム本体工事の状況（下流から上流方向を望む）



ダム本体工事JVだより

◆大雪になりました

冬が始まる前は、「今シーズンは大雪になる！」との予報でしたが、1月上旬に10cm程度の積雪があったくらいで、その後は一転して「2月以降、例年になく暖かい気候になる」との予報もあり、このまま春になることを期待しました。

ところが、2月に入ると「10年に1度の寒波」が襲来し、現場内は工事開始以来最も多い積雪量となりました。ダム堤体上は最大60～70cmの積雪で、すっぽりと雪に覆われてしまい、ミニバックホウ等の機械や人力にて連日の除雪作業を行いました。



人力除雪の様子



ミニバックホウ除雪の様子

文・写真: 安藤ハザマ・建世・清水組・谷口建設JV



福井県吉野瀬川ダム建設事務所ホームページ

ホームページQRコード

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/yosidam/>

【かわら版のバックナンバーは、事務所ホームページで公開します】

事業の詳しい情報は、YouTubeやX（旧Twitter）でも発信しています。

チェックしてみてください！

吉野瀬川ダム YouTube

検索

吉野瀬川ダム Twitter

検索

